

安全 玄海原発 責任

玄海原発再稼働に向けて飛び交う「安全」「責任」

2016年12月9日 原子力防災会議

(参考資料①)

安倍首相

「高い独立性を有する原子力規制委員会が、科学的・技術的に審査し、世界で最も厳しいレベルの新規制基準に適合すると認めた原発のみ、その判断を尊重し、地元の理解を得ながら再稼働を進める」というのが、政府の一貫した方針です。このような政策を推進する責任は政府にあります。その上で、万が一、原発事故が起きて、災害になるような事態が生じた場合、国民の生命、身体や財産を守ることは政府の重大な責務です。責任をもって対処します。自治体を最大限支援し、全力を尽くします。

2017年1月20日 経済産業大臣文書

(参考資料②)

「九州電力株式会社玄海原子力発電所3号及び4号炉の再稼働へ向けた政府の方針について」

玄海原子力発電所3・4号炉については、再稼働に求められる安全性が確保されることが確認された。

1月18日に
新規制基準適合

再稼働後についても、政府は、関係法令に基づき、責任をもって対処する。

山口祥義 佐賀県知事

県としては、国において新たな規制基準に適合していると認められたこと、すなわち玄海3,4号機の運転にあたり求められるレベルの**安全性**が確保されているということを確認できたと考えています。

2017年4月13日 佐賀県議会決議文可決

「九州電力玄海原子力発電所3、4号機の再稼働に関する決議」

本県議会としては、

- ・ **安全性**については、原子力規制委員会において**厳正に審査され、政府及び県においてもそのことを確認していること**
- ・ 県民の暮らしや経済活動に不可欠な電力を、安定かつ安価に供給する必要があること
- ・ 我が国のエネルギー情勢や地球温暖化対策等を踏まえ、当面、原子力発電に依存せざるを得ないことから、再稼働の必要性が認められるものと判断する。

ちなみに・・・

2014年7月16日 田中原子力規制委員長会見

安全審査ではなくて、基準の適合性を審査したということです。ですから、これも再三お答えしてはいますが、基準の適合性は見ていますけれども、**安全だということは私は申し上げません**ということも、国会でも何でも、何回も答えてきたところです。

最後に一言

なんだか、再稼働のたびに毎回同じことが繰り返されているような気がしてなりません・・・田中委員長によれば、規制委員会は適合性を審査しているだけ。じゃあ、みなさんが言う「安全」の中身は？そして、みなさんが言う「責任」の中身は？そもそも原発事故の責任ってどうやってとるんでしょう？中身の無い言葉だけで物事が動いている状況で本当に何か起きた時、全ての矛盾が噴き出すはず。そのための対処法は。。。ただ何も無いことを祈るだけ。この国は今、根本の部分で、神頼みで動いてるんだと思います。

参考資料
 ①首相官邸HP 原子力防災会議 平成28年12月9日議事録 http://www.kantei.go.jp/jp/singi/genshiryoku_bousai/
 ②佐賀県HP 「山口知事と目下部資源エネルギー庁長官との面談内容をお知らせします」 <http://www.pref.saga.lg.jp/kiji00352878/index.html>
 ③佐賀県HP 「山口知事と山本内閣府特命担当大臣（原子力防災）との面談内容をお知らせします」 <http://www.pref.saga.lg.jp/kiji00354498/index.html>
 ④佐賀県議会HP 「九州電力玄海原子力発電所3、4号機の再稼働に関する決議」 <http://www.pref.saga.lg.jp/gikai/kiji00354658/index.html>
 ⑤原子力規制委員会HP 平成26年度原子力規制委員長記者会見 平成26年7月16日 速記録 https://www.nsr.go.jp/nra/kaiken/26_kaiken.html